

大阪府立布施北高等学校学校運営協議会議事録

校名	大阪府立布施北高等学校
校長名	村田 知子

開催日時	令和4年7月9日（土） 9:30～11:00
開催場所	大阪府立布施北高等学校 展開1教室
出席者（委員）	中西 進泰（会長）、松下 寛史（副会長）、菊地 栄治（委員）、塚本 佳秀（委員）、西村 芳世（委員）
出席者（学校）	校長、事務長、教頭2名、首席2名、教諭1名、実習教員1名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府立布施北高等学校 学校運営協議会 実施要項 ・議事テーマ説明用資料 ・令和4年度 学校経営計画及び学校評価 …… 等

議題等（次第順）

- 会長・副会長の指名
- 『布施北高校 ～魅力ある学校づくり～』（「スクール・ミッション」の再定義と「スクール・ポリシー」の策定に向けて）
- 令和5年度使用教科用図書採択について

協議内容・承認事項等（意見の概要）

- 会長・副会長の指名
 - ・会長（中西進泰委員）、副会長（松下寛史委員）を承認。

- 『布施北高校～魅力ある学校づくり～』（「スクール・ミッション」の再定義と「スクール・ポリシー」の策定に向けて）
 - ≪学校より≫
 - 「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」の概要、再定義・策定の流れの説明
 - ≪委員より≫
 - ・魅力化について、これまでも話し合ってきたことなのでいいものができると思う。
 - ・保護者からの評価や意見も大事。親や子にしっかりと伝わるように。
 - ・これまでも生徒を中心として一貫した教育をしてきていることはありがたいこと。これまでの40数年の積み重ねをベースに、今後を見つめて目標を作っていただければ。地元の企業（や施設）とともに生徒を育てている特色あるデュアルシステムをバックアップしていければと思う。
 - ・学校の柱は「デュアルシステム」や「人権教育」。策定に関して、先生方が当事者意識を持つことが大切。昨年度の話し合い（教員自主研修）はよかった。『面倒見のいい学校』という保護者にも伝わる方向性が共有できた。それをつなげていければと思う。
 - ・会社も同じことを考えている。ここに入学したいと思われる学校、ここで働きたいと思われる会社。玄関に入って「私たちの学校」と誇れるようにきれいにするのもよい。先生方が心に余裕があって幸せでないと教育もできないだろう。先生方も生徒も誇りを持てるような学校を自分たちで創るということを意識したい。
 - ・玄関をきれいにする。物理的なものだけでなく、見えない玄関も意識してほしい。
 - ・特色である「デュアル」や「面倒見のいい学校」というニュアンスをミッションに加えてほしい。教員の熱量が重要なので、これからの方向性を創るときにはぜひ若い先生方が主体的に議論に参加できるように配慮してほしい。
 - ・子どもだけでなく、（会社なら）社員も学ぶ、先生も学ぶ、「大人も学ぶ」ということが重要。この点を忘れないことが大切なことだと思う。
 - ・教える方も育つ。実習で高校生を受け入れると、社員も社会人としてしっかりしないといけないと思える。
 - ・絵の上手な生徒がいたら、10年後の学校の絵を描いてもらったりして、生徒が自分の学校を作るという意識をもてるようにするのもよい。

※次ページ続きあり

《学校より》

- ・「スクール・ミッション」の再定義に際し、学校や自分のモノ、自分たちの学校を作っていくと意識できるように進めていかないとならない。
- ・エンパワメントスクールとして、「基礎学力の定着」や「基礎的な生活習慣」にも取り組んでいる。デュアルを選択する生徒だけでなく、色んな生徒がいる。「学び直し」や「めんどろみのいい学校」を打ち出して、それができる学校と伝えていきたい。教員も「デュアル」や「キャリア教育」で頑張りたい教員、支援教員で頑張りたい教員、「学び直し」を頑張りたい教員と様々いる。教員皆が熱量を持って頑張れるようなモノを打ち出していきたい。
- ・高校卒業を通過点と考えて、社会に出た時に「社会に繋がる力」の育成を大切にしたい。教えなければ、成長させなければと思いがちだが、生徒が持つ種に水を撒き、生徒自身の気づきを促すことが必要。教員も気づきが大切で、教員の苦手な底上げや学びが大切。
- ・先生方の学び、自分たちの学校を自分たちでつくるというプロセスを汲んでいきたい。

《委員より》

- ・「デュアル」が全てではないが、エンパワメントスクールの志願者の減少傾向をふまえると、学校としての特色（強み）を打ち出すことは大切。
- ・学力保障も人権教育のひとつ。「色んなタイプの生徒を受け入れて育てていきますよ」というメッセージが伝わるように工夫してほしい。
- ・布施北高校には色んなタイプの生徒がいると思う。色んなタイプの生徒を受け入れてくれているのは嬉しいこと。すごく頑張る子、コミュニケーションが苦手な子、勉強が得意でない子、学校に来にくい子、遅刻が多い子など、そういった生徒をカバーしてもらえることを知り安心できる。担任の先生だけでなく、学校全体で見えていただけると知って保護者も安心できる。

○ 令和5年度使用教科用図書採択について

- ・承認。

次回の会議日程

日時	令和4年11月18日
会場	大阪府立布施北高等学校